

## ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の取り組みについて

### 1. これまでの取り組み

- (1) 「人生の最終段階における意思決定支援」に関する有識者会議の設置
  - ・令和3年8月に受領した報告書では、ACPの普及・啓発に向けて取り組むべきこととして、市民向けの公開講座や、医療介護施設や公的施設等におけるパンフレット等の配布、医療・介護従事者向けの教育講演等の実施などが挙げられた。
- (2) 「ACPの普及促進に向けた具体的方策に関する検討会議」の設置
  - ・有識者会議での報告を踏まえ、実務的な見地から意見をいただくため、令和4年11月に「ACPの普及促進に向けた具体的方策に関する検討会議」を設置。
  - ・市民向けのパンフレットの内容や活用方法、医療・介護従事者向け研修の実施等について協議し、令和5年3月末に啓発パンフレット「大事なことから、みんなと話したい 私のこれから」が完成。
- (3) 令和5年度の取り組み状況
  - ・公的施設（区役所、あんしんすこやかセンター等）および、医療介護施設でパンフレットの周知・配布を行うとともに、関係団体主催の市民向け公開講座や研修会等でのACPの説明を実施。

### 2. 今後の取り組みについて

- (1) 市民向けパンフレットの周知・配布
  - ・今後も各団体の協力を得ながら、パンフレットをさらに広く配布し、普及啓発を図る。
- (2) 市民向けの講演会の開催
  - ・市主催の市民向け講演会を開催し、市のACPの取り組みについて広報を行う。
- (3) 医療・介護従事者向けの研修の実施
  - ・本人の意向を尊重した意思決定を支える実践につながるよう、厚生労働省において策定された「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づいた「意思決定支援教育プログラム（E-FIELD）」を活用した相談員研修会医療・介護従事者向け研修会を実施する。（基本研修：2023年11月19日、在宅研修：2024年2月18日）
- (4) 検討会議の継続実施
  - ・引き続き検討会議を開催し、ACPの普及に向けた今後の取り組みやその他必要な方策について協議を行う。

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



# もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日

誰でも、いつでも、  
命に関わる大きな病気やケガをする  
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、  
約70%の方が、  
医療やケアなどを自分で決めたり  
望みを人に伝えたりすることが、  
できなくなると言われています。

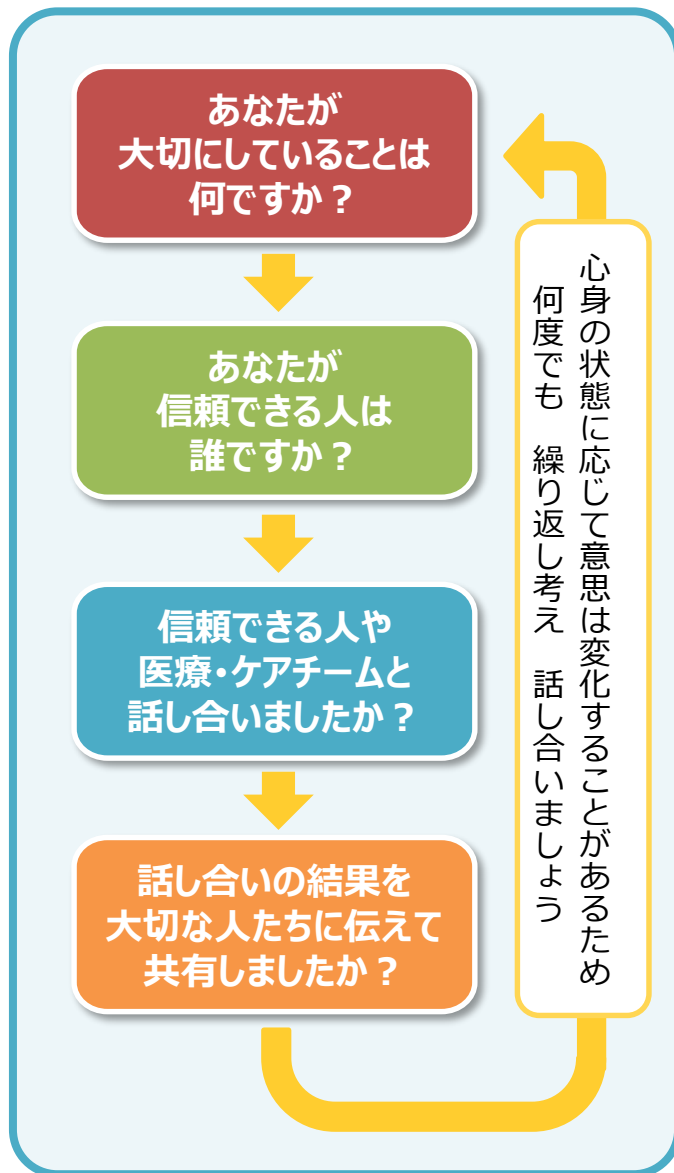
自らが希望する医療やケアを受けるために  
大切にしていることや望んでいること、  
どこでどのような医療やケアを望むかを  
自分自身で前もって考え、  
周囲の信頼する人たちと話し合い、  
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、  
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を  
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」  
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや  
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

## 話し合いの進めかた（例）



このような取組は、個人の主体的な  
行いによって考え、進めるものです。  
知りたくない、考えたくない方への  
十分な配慮が必要です。



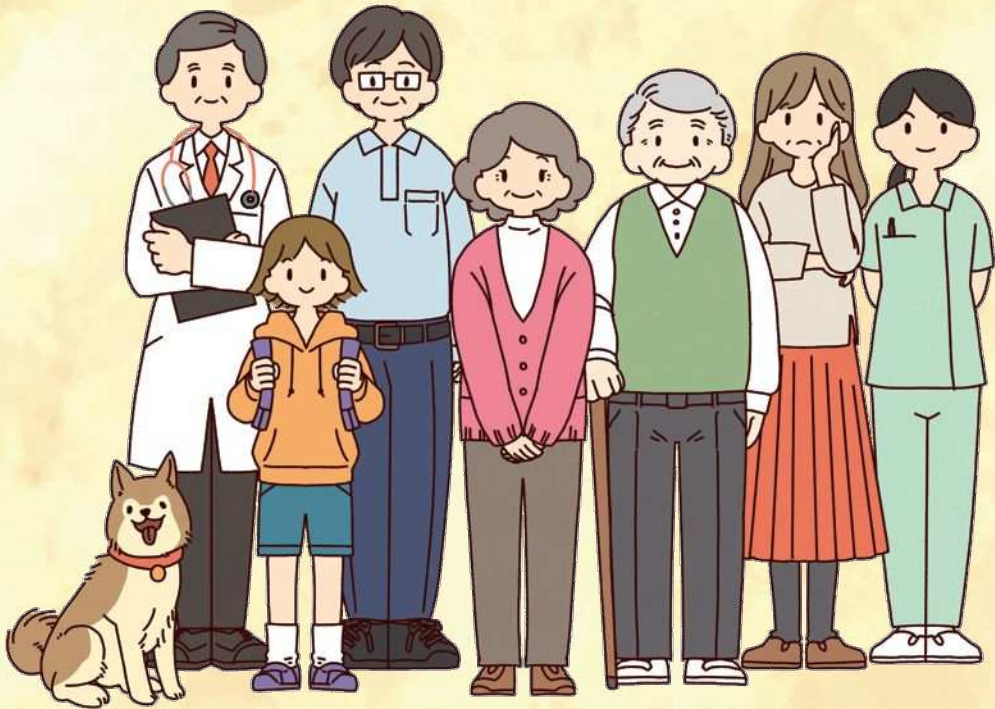
詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)



大事なことから、  
みんなと話したい

# 私のこれから



## 人生会議のすすめ

「人生会議」とは、自分自身が大切にしていること、  
どのように生活し、どのような治療やケアを  
受けたいかについて、信頼する人たちと話し合っておくことです。

話し合いに  
役立つ情報は  
こちら



前もって、自分の信頼できる人たちと、自分が何を大事にしているか、

例えば何かの病気になったときに何を一番大切にするかを話し合っておくのがいいんやて。

僕の同級生のお父さんが、突然入院したらしいよ。

私もこれから大きな病気になるったりしないか不安やわあ。

私はなんとなくやけど、病気になるっても、自分の身の回りのことはできる限り、自分でしたいなと思ってるよ。

気持ちや想いは変わるから何度も話し合うことが大事やねんて。お母さんの考えを分かっていたらば、お母さんが倒れたときでも、お母さんの思いを大切にしていあげられるんよ。

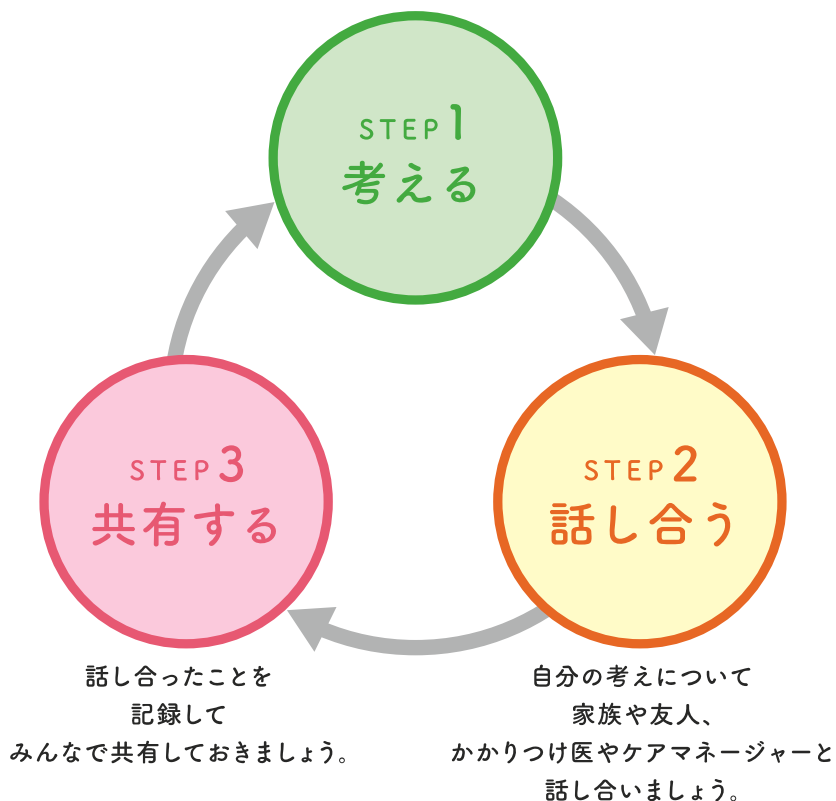
じゃあ、お父さんとも色々話し合っておくね。

みんなで話し合おう。これからのこと。

家族だけじゃなく、かかりつけ医やケアマネジャーにも共有しておくことも大切やねんて。今度、僕も一緒に行くから、かかりつけの先生にも話してみよう。

## 話し合いの手順

自分にとって大切なことは何か  
信頼している人は誰かを考えてみましょう。



気持ちは変わるので何度も繰り返すことが大切です。

## やってみた人の声

今まで知らなかった  
本人の気持ちが  
わかってよかった。  
(家族の意見)



自分の思いについて、  
日頃から  
家族と話し合っておく  
必要があったと感じた。  
(本人の意見)



どこで暮らしたいか、  
どのような治療を  
受けたいか  
わかってよかった。  
(医療者の意見)



## 大切にしていることは何か考えてみましょう

### ○「私が大切にしていること(価値観シート)」(神戸市医師会作成)

あなたが大切にしていることは何ですか？あなたが信頼できる人は誰ですか？

あなたが日頃大切にしていることや、いざという時にしてほしいと思うことを大切な人たちと何度も話し合い、伝えておきましょう。まずは、この価値観シートを使って話し合い(人生会議)を始めてみませんか。

各項目を読んで、あてはまる数字に○をしてください。

ご質問項目	全く大切ではない	あまり大切ではない	まあまあ大切	とても大切
私が心地良い・楽しいと感じられることが生活の中にあること	1	2	3	4
自分の好きなものを食べたり飲んだりすること	1	2	3	4
自分のしたい生活や習慣を続けること (趣味や嗜好/ペットとの生活/気ままな生活など)	1	2	3	4
会いたい人に会うこと	1	2	3	4
身の回りのことは自分でできること	1	2	3	4
いつも清潔な状態で過ごすこと	1	2	3	4
おだやかな気持ちで過ごすこと	1	2	3	4
信仰に従って過ごすこと	1	2	3	4
人の役に立っていると感じられること	1	2	3	4
望んだ場所で過ごすこと	1	2	3	4
家族や友人と十分に時間を過ごすこと	1	2	3	4
家族や友人に私の気持ちや想いを伝えること	1	2	3	4
家族や友人の負担にならないこと	1	2	3	4
私自身が治療や自分の体の状態をよく理解していること	1	2	3	4
治療やケアに私の思いや価値観が尊重されること	1	2	3	4
私が自分の受ける治療や療養生活に関する詳細を決められること	1	2	3	4
大切な人と相談しながら一緒に治療・療養方針を決められること	1	2	3	4
単に命を延ばすことよりも、苦痛を和らげたり、 望む場所で過ごしたりといった生活の質を優先すること	1	2	3	4
痛みや苦しさが少ないこと	1	2	3	4
少しでも長く生きること	1	2	3	4

あなたの大切にしていること／して欲しくないこと

お名前

ご記入日

年

月

日

家族やケアマネジャー、かかりつけ医と共有してみましょう。